

地域を考え、時代を創る、新しい日本を一緒につくりましょう。



Heart to Heart

Smile man 510

率直に語ろう

2004
新春号
Vol.27

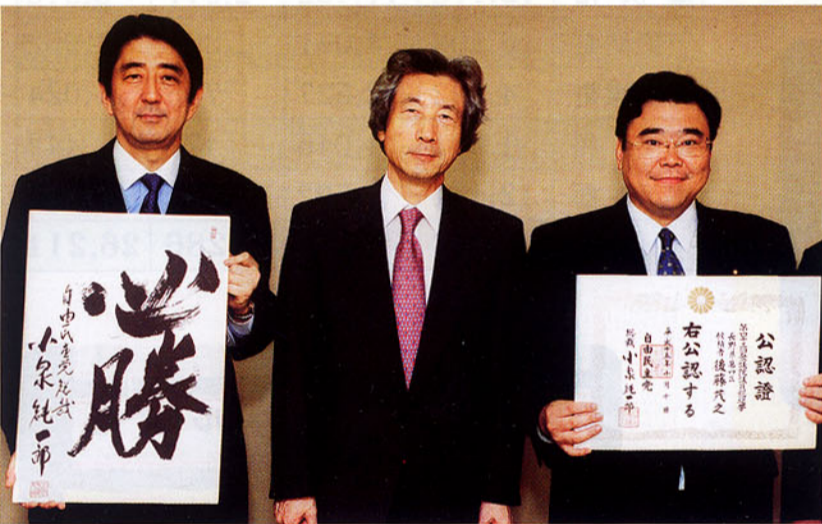
発行/後藤茂之 後援会

[ホームページアドレス] <http://www.510.to> [メールアドレス] goto@510.to

●諏訪事務所/〒392-0017 諏訪市城南1-2542 ●塩尻事務所/〒399-0738 塩尻市大門七番町5-12 ●木曾事務所/〒397-0000 木曾郡木曾福島町上塩淵2690



ありがとうございました。
皆様のご支援を心より感謝申し上げます。



今後とも保守改革の志を貫いて、国のため、地域のため
一生懸命に働いて参る覚悟です。

この度の総選挙において長野四区から二期目の
当選を果たすことができました。大変に難しい選
挙でありましたが、これもひとえに皆様のおかげ
と心から感謝を申し上げます。本当にありがとう
ございました。政策中心の新しい改革政治を実現
すべきとの当初からの志を忘れることなく、みな
さんのご期待に応えて、しっかりとがんばりたい
と決意を新たにしております。

選挙後すぐに政府与党間の予算編成、税制改正
の作業が進んでおり、自民党財務金融部会副部長
農林水産部会副部長として大変忙しく充実感を
もって日々働いております。自分の毎日の仕事の
中で改革政策の実現に向け努力する覚悟です。
衆議院においては農林水産委員会の所属となり、
岐路に立つ農政、食の安全の問題、森林をはじめと
した環境政策、バイオマスエネルギーなどの諸問
題に取り組んでまいります。

率直な議論を通じて国民一人一人の生活や気持
ちを大切にする政治を実現したいと考えます。
今後とも皆様の御支援、御指導を宜しくお願い申
し上げます。どうぞよいお年をお迎えください。

改革の志を新たに。



語る

後藤代議士

Q & A

Q 二大政党論については?

対立する政策軸によって明確に再編された
保守二大政党制の実現は将来の日本の政治
が目指すべき姿です。ただし、外交・安保・エ
ネルギー・政府の関与など国の基本政策がま
とまらないままで、数のかたまりだけの形式
的二大政党論を振り回すことは、国民をかえ
って惑わすものです。国家の基本政策をつき
つめ、既存政党の分裂も含めて一人一人の政治
家の考えが明確にされ国民の考えが整理さ
れることによって、本当の意味での二大政党
制が動き出します。まずは二つの改革を現
実に実行していくことです。

Q イラクへの自衛隊派遣は?

テロの脅威に屈することなく世界的な連帯
の中で活動すべきことは当然です。ただし「非
戦闘地域」の明確な選定なく自衛隊派遣を
決めることは、憲法解釈のギリギリの限界で
成立しているイラク特措法の性格上問題です。

Q 年金制度改革については?

基礎年金の国庫負担の二分の一への引上げは
早期に実施すべきです。給付と負担をセット
で決着すべきですが、所得の有無といった個
人的事由を加味すること、負担の増大によっ
て経済の活力が損なわれないようにするこ
とが必要です。国民負担率は50%程度までに、
「大きな政府」には反対です。

Q 地域経済は回復しているか?

経済全体は、設備投資、輸出の好転で回復の
兆しはあるものの消費が低迷しており、地域
経済は厳しいままです。構造改革と合わせテ
レ対策、地域対策、中小企業金融対策など
が重要です。

Q プライベートで目標としている減量は?

微減です。年末年始とお酒をすすめないでい
ただけると助かります。(笑)